

青森南女子ハンド部

模範的活動で奨励賞

県教育委員会は15日、森南高校女子ハンドボール部に「県高校運動部活動奨励賞」を贈った。積み重ねが大きな賞に
なかつた」と喜びを語った。



奨励賞を受賞した青森南高校女子ハンドボール部主将の若藤さんと小山内瑞葵さん

県庁で表彰式があり、和嶋延寿教育長が両校代表に表彰状と盾を贈呈。一部活動の経験は今後の成長にもつながる。支えてくれた人に感謝し、これからも競技を愛し、続けてほしいと激励した。下川原堅蔵・県高体連会長も祝意を示した。

青森南女子ハンドボール部は、平日は2時間と限られた練習時間内で互いを高め、仲間のミスをカバーできるチームをつくっている点が評価された。また大会の運営補助などにも積極的に携わってきた。

主将の若藤奈々美さん(3年)は「今まで苦しい思いもしてきたが、仲間と助け合い、互いにアドバイスできるいいチーム」と語った。

奨励賞の表彰は例年、県高校総合体育大会の総会開会式で行っているが本年度は新型コロナウイルスの影響で開会式が中止となったため、15日に行った。

(鳥谷部知子)

東奥日報 2022年(令和4年)6月16日(木)掲載
この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです。